

第3学年1組 学級活動(2) 指導案

令和2年8月3日(月) 第2校時

徳島市国府小学校 3年1組 32名

指導者 T1 学級担任

T2 栄養教諭

1 題材 「いろいろな野菜を食べよう！」

エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、大変活発であり、給食を楽しみにしている児童がたくさんいる。給食を残さず食べられる児童がほとんどである。しかし、今年度6月に実施した食に関する実態調査によると、「きれいな食べ物がありますか」の問いに、69%もの児童が「ある」と回答し、その内容は、ほとんど野菜であった。このことから、給食の全体の残食は少ないが、個人的に見てみると多くの児童に嫌いな野菜がある事が分かった。「きれいな食べものが出たらどうしますか」の問いに、92%が「全部食べる」または「少し食べる」と回答した。しかし、「食べ物を残すことをどう思いますか」の問いに、15%の児童が「きれいだからしかたない」「残すことはなんとも思わない」と回答した。

(2) 題材設定の理由

徳島県では、糖尿病死亡率が高い状態が続いており、解決に向け、県全体で食育の推進に力を入れている。糖尿病をはじめとする生活習慣病を予防するためには、できるだけ早い時期から正しい食習慣を身に付けていくことが大切である。生活習慣病とは密接な関係にある野菜には、「色の濃い野菜と淡い野菜があること」「どちらの野菜も体には必要であることを理解させ、いろいろな野菜を食べようとする意欲を高め、望ましい食習慣の形成を図る。

(3) 指導にあたって

学級担任と栄養教諭とが共に授業を進めることで専門的見地から児童への知識理解を深めたり、主体的に取り組むことができるようにしたいと考えた。そして、給食だけでなく、食生活全体においても、野菜を摂取することができるよう、自分にあつた目標を設定し、今後につなげたい。また、家庭と連携をはかり、保護者の協力も得たい。

3 食育の視点

野菜に興味・関心をもち、野菜の働きや大切さがわかる。(食事の重要性)

4 活動の流れと指導助言・評価規準

	活動内容	時間	指導上の留意点	評価規準
事前の活動	食に関する実態調査	6月上旬 朝の活動	これまでの生活を振り返る時間を設け、課題への意識が高められるようにする。	食に関する自分の生活を進んで振り返ろうとしている。 【主体的態度】
	野菜の働きを知る。	8/3(月) 朝の活動	野菜に関心をもち、働きが分かるようにする。	野菜の働きを理解している。 【知識・技能】
本時	「いろいろな野菜を食べよう！」	8/3(月) (本時)	本時の活動に記載	

事後の活動	自分の立てた目標や取り組みについて振り返る。 保護者にも応援のメッセージを記入してもらう。	帰りの活動 家庭での時間	事後に振り返る機会を設定し、実践化に向けて継続した取り組みになるよう助言する。	今後の生活における野菜の摂取についての見通しをもち、目標を達成するために努力している。 【主体的態度】
-------	--	-----------------	---	--

5 本時の活動

(1) ねらい

野菜にはそれぞれ働きがあることを踏まえ、いろいろな野菜をがんばって食べようとする事ができる。

(2) 展開

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
1 野菜のクイズに答える。(つかむ)	○野菜のおなかの写真を見せ、野菜の名前をあてさせる。(T1)	
いろいろな野菜を食べよう！		
2 野菜の働きを思い出す。(さぐる)	○野菜は、緑色の食品であることを思い出させる。(T1) ○野菜は体によいことを知らせる。(T2)	
3 野菜には、色の濃い野菜と淡い野菜があることを知る。	○野菜はいろいろ分類できる事を知らせ、色の濃い野菜と淡い野菜の見分け方を知らせる。(T2) ○本日の給食の野菜を例に挙げ、色の濃い野菜・淡い野菜のクイズをし、わかりにくい野菜についても考えさせる。(T2) ○3年生の嫌いな野菜の結果を知らせる。(T1)	
4 一日の野菜の摂取量を知る。	○一日に食べたらい量の実際の野菜を見せ、どちらの野菜も体に大切であることを知らせる。(T2)	
5 どうすれば、食べることができるかを話し合う。(みつける)	○野菜を食べるためにどうすれば良いか自分の経験を思い出したり、友達の工夫を聞いたりして、具体的に考えられるようにする。(T1)	
6 いろいろな野菜を食べようとする具体的な目標を決定する。(決める)	○具体的な目標になるように助言する。(T1)	野菜を食べようとする意欲を高め、自分にあつた目標を決めている。 【思考・判断・表現】 (発表・ワークシート)

6 他教科との関連

体育科の保健領域「毎日の生活と健康」などの学習内容と関連させて、健康な生活を送るために食事が大切なものであるということを再確認する。